

GL アクティブ (国内研修) 実施講座名 『グローバルな課題について記者から学ぶ&築地で聞き取り調査』

- 1 目的 グローバルな現代社会の問題について、朝日新聞 GLOBE 記者 (難民特集メインライター) から学び、研究課題を見付ける一助とする。また、築地市場に来る外国人に日本の歴史・伝統・文化についてのインタビューを実施し、研究課題を見付ける一助とする。
- 2 日時 平成28年7月29日 (金) 午前8時15分~午後3時00分
- 3 参加生徒 38名
- 4 場所 朝日新聞東京本社 (〒104-8011 東京都中央区築地5丁目3番2号)
- 5 内容



2016年2月に発行された『朝日新聞 GLOBE』にて難民について取材された記者の杉崎慎弥氏に難民についての基礎や現状を伺う。グループ討論を交えながら日本への難民の受け入れについて話し合うなど生徒も真剣な表情が窺えた。最後にこのあと築地での聞き込み調査を行うにあたって、記者ならではの注意点や質問のコツを教わった。



築地での聞き込み調査では、杉崎氏に教わったことを生かし、外国人観光客に対し自分の気になることを調査した。

以下は生徒の質問例である。

- ①どこの国から来ましたか?
- ②日本についてどんなことを知っていますか?
- ③好きな日本食は何ですか?
- ④なぜ日本に来ましたか?
- ⑤どれくらい滞在しますか?

⑥あなたの国で有名な物は何ですか? など。
生徒の感想では、最初は勇気が必要だったが、コミュニケーションをとる楽しさを学んだことと、英語の勉強の必要性を感じたようだ。

6 生徒感想

「今回の講座を通して、難民問題の深刻さ、会話で英語を使うことの難しさを学んだ。」

「私は今まで難民についてあまり知らなかったが、今回、世界の国々が難民に対してどのように対応しているか、色々な援助の仕方があるということなど、たくさんのことを学ぶことができた。

まずは私自身も、難民についての理解を深めることも大切だと思った。」

「日本が難民をどう受け入れるべきか、それらを話し合うことで、難民のことをより深く考えることができた。」

「「難民問題」と聞いても、今まではあまり自分には関係ないことだと思っていた。私達はもっと難民について考えたり、もっと知るべきだと思った。」

「難民に対する日本と世界の対応の違い、日本のこれからの援助について、もっと研究し、考えていきたいと思えた。」

「外国人のインタビューでは、積極的に自分の言いたいことを伝える姿勢が大切だと感じた。」

など。

7 成果と課題

今回の「朝日新聞 GLOBE 記者から学ぶ・築地市場で外国人にインタビュー」では、研究課題を見つけるきっかけになりました。自分たちには関係の無いことだと思っていたものを身近に感じるようになったようです。また、築地市場での外国人インタビューでは、今後課外研究を進めるにあたって必要なインタビューの方法を学ぶこともできました。5月のSGH ガイダンスで説明した1年生のゴール（目標）4つは、

- ① 全員が海外に自信をもって発信できる、日本の歴史、伝統、文化を語れるようにする。通史的なことではなく、自分が語れること。
- ② 研究したいグローバル社会における課題（日本を中心に考えてもよい）を見つける。（国際課題の解決に向けて、日本人に何ができるか、研究する。）
- ③ 英語のプレゼンができるようにする（プレゼンの手法も含めて）。
- ④ 課題研究の進め方を理解する。

でしたが、今回は、②・③の参考になったと思います。